

令和7年度熊本県健康づくり県民会議表彰 受賞団体

地域活動部門

1. 生活協同組合くまもと
2. 山鹿市学校保健会

健康経営、健診・がん検診部門

3. 株式会社 L i b W o r k

運動・食生活部門

4. 公益社団法人 熊本県栄養士会

糖尿病対策部門

5. 小国郷糖尿病対策チームブルー



令和7年11月23日（日・祝）

熊本県健康づくり県民会議

健やか生活習慣県民運動キャラクター
「ASO坊 健太くん」

地域活動部門1

生活協同組合くまもと（略称 生協くまもと）（水俣市）

「地域の多様な人がつながる場を広げ
助け合い支え合える地域社会を目指す」



団体概要

生協くまもとは、2014年に生活協同組合水光社（以下生協水光社）とコープ熊本学校生協が合併して誕生した熊本県で最も組合員数の多い生協です。前身である生協水光社が大正9年（1920年）に設立されて今年で105年目を迎えます。生協とはよりよい暮らしを実現するための消費者の組織です。組合員の出資によって運営され、食の安全や県内市町村との見守り協定締結、買物支援事業などを通じて、地域に根ざした取り組みを続けています。



主な取り組み・活動内容

○歯っぴー健口広場♪

水俣・芦北地域歯科保健連絡会（事務局：水俣保健所）が主催する、歯と口に関する健康教室を水光社本店で開催。歯科相談やフッ素塗布、歯磨き指導や歯に良いおやつ紹介など、親子で来場し学ぶ場を提供しています。

○まちの保健室

生活習慣病の発症予防などを目的に、熊本県看護協会水俣芦北支部が実施する健康相談、パンフレット配布などを行う「まちの保健室」に協力しています。

○グラウンドゴルフ大会

生協くまもと家庭会主催のグラウンドゴルフ大会をエコパーク水俣で開催しています。毎年100名ほどの参加者が集まり、地域の方々の交流が生まれています。また、勾配のあるコースを楽しみながら歩くことで、体力の向上と健康増進に繋がっています。

○学習会の実施

生協くまもと家庭会地区委員会では、地区委員を対象に、認知症やストレス予防学習会、ストレッチ体操などを行っています。毎月30名ほどが参加され、最新の情報に触れるによる知識の更新、また体力づくりに繋がっています。

今後について

安心して暮らし続けられる地域社会づくりに積極的に参加し、多様な人々が共に暮らし、健康で笑顔になる活動を進めます。また、これからも行政・諸団体と協力・連携した活動を通じて地域社会へのお役立ちを目指します。



地域活動部門 2

山鹿市学校保健会（山鹿市）

「生きる力を育む健康教育の推進」



団体概要

現在、13校の小中学校、山鹿市教育委員会、鹿本医師会、山鹿市歯科医師会、山鹿地区学校薬剤師会、山鹿市PTA連絡協議会、山鹿保健所、山鹿市教育会の協力のもと、活動を行っています。自然豊かな環境の中、子どもたちの生きる力を育むために「チーム山鹿」で連携し、様々な取組に励んでいます。



主な取り組み・活動内容

○学校環境衛生調査

山鹿市内全ての幼稚園・こども園、小中学校、支援学校および学校給食センターを対象に、年1回実施しています。山鹿市では、山鹿地区薬剤師会や山鹿保健所、山鹿市教育委員会など多機関が連携して環境衛生調査を実施しています。全ての調査終了後は事後検討会を開き、改善点などを共有して問題解決に努め、児童生徒が健康で快適に学べる教育環境の維持ができます。

○資質・能力向上のための研修会

多様化する児童生徒の健康課題に対して早期対応力を高めるために、学校現場の実態やニーズに応じた研修会を実施しています。研修会の講師として専門機関の方々を招聘し、専門的な知識を学ぶことができます。今年度は、病気の予防という視点でのピラティス体験、環境衛生の視点で薬剤師の先生からの講話を実施しました。

また、熊本県学校保健会の取組として行われている、「こころの健康アドバイザー事業」では、事例検討会、個別相談の他に、専門スタッフの先生方からの講話ををしていただいています。専門スタッフによる助言体制が整っていることで、学校現場におけるメンタルヘルスへの対応の充実を図ることができます。



今後について

長年にわたり、山鹿市学校保健会の活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。今後も引き続き、関係機関と連携しながら、子どもたちの心身の健やかな成長のため、活動を行っていきます。

健康経営・健診・がん検診部門

株式会社 Lib Work (山鹿市)

「“従業員の健康は経営資源”の理念のもと、
健康経営の推進による従業員の活力と組織力を向上」



団体概要

本社は、インターネットや VR（ヴァーチャルリアリティ）を活用した戸建て・住宅・不動産販売を行っています。「生活創造企業」として暮らしのご提案を通してお客様の夢の実現に貢献するために、すべてのスタッフが心身ともに健康であるよう、長時間労働の撲滅・食生活の改善・運動の推進を行っており、2022 年から 4 年連続で健康経営優良法人に認定されています。

主な取り組み・活動内容



○従業員健康課題の抽出：健康課題の分析をコンサルティング会社に依頼し、「運動不足」「朝食欠食」「健康診断受診率 100% の未達成」等を把握。課題の明確化により、従業員一人ひとりの健康づくり意識向上のための取組み及び今後の改善活動の方向性に則った施策の検討につながっています。定期健康診査については、勤務時間内での受診を認める体制をとり、受診率 100% を達成しました。

○サークル活動を通じたコミュニケーション促進や健康増進：会社公認で 19 のサークル（運動系、文化系）を設け、活動費支援や活動場所を提供しています。全従業員が何らかのグループに所属し、定期的な活動を通じて、運動不足の改善に寄与するとともに、趣味や関心を軸とした交流が活発化し、部署を越えたつながりが生まれました。活動の様子はインスタグラムに定期投稿し、企業の魅力発信ツールとしても活用。サークル活動が健康促進と組織力強化の両面に好影響を与えています。

○アプリの活用など：「くまもとスマートライフアプリ（歩数計アプリ）」や「ライフログアプリ（健康管理用）」を会社推奨アプリとして導入し、運動量や栄養状態を可視化されたことで、社内全体で生活習慣の見直しが進むなど、健康づくりの風土醸成にもつながっています。

また、くまもとスマートライフプロジェクト応援団に登録し、スマートライフ企業として新聞や県公式サイトで取組みが紹介され、他事業所や地域住民への波及効果を生んでいます。

今後について

精神・身体ともに健康を保ちながら働くことができるよう、さらに以下のような取り組みが実施できないか検討しています。

- ・安全衛生面からのアプローチとして、現場安全管理・入退場システム整備の導入
- ・人間ドックの対象年齢の引き下げ、受診費用補助額を増額し、予防を重視した取組みの強化
- ・AI を活用した受診勧奨、エンゲージメント管理等のシステム化 等

このような取組みを通し、これからも、すべてのスタッフが心身ともに健康であるよう、長時間労働の撲滅・食生活の改善・運動の推進を行ってまいります。

運動・食生活部門

(公社)熊本県栄養士会(熊本市)

「栄養の日」に関連した

栄養情報・食育等普及啓発事業」

団体概要



(公社) 熊本県栄養士会は、県内の管理栄養士・栄養士約1,000名が所属し、「食と栄養を通じた健康づくりの推進」を目的に活動する職能団体です。会員は、医療、福祉、公衆衛生、学校健康教育、研究教育、フリーランス、栄養関連企業など様々な職域で培った専門性を活かしつつ、連携して取り組むことを大切にしながら健康づくり支援を継続して行っています。



主な取り組み・活動内容

平成28年に日本栄養士会が制定した栄養の日(8月4日)／栄養週間(8月1日～7日)にちなんで、熊本県栄養士会では、平成29年より商業施設を会場とした「栄養フェスティバル」を開催しています。食事の栄養バランスチェック(SATシステム)や体組成、骨の健康度、野菜摂取度の測定、食育クイズや栄養食事相談を通じて楽しみながら食と健康について学ぶ機会を提供しています。

これまでに延べ2,500人を超える県民の皆様にご参加いただいており、管理栄養士・栄養士が直接関わることで、生活に密着した実践的な情報提供を行ってきました。また、会場では「食の防災啓発」や、くま食健康マイスター店・栄養ケア・ステーション事業紹介など、県民の皆様の関心や社会的課題に応じた様々なコーナーを設けています。

今後について

今後は、対面イベントに加えてSNSやYouTube等のオンライン発信を強化し、より多くの世代へ食と健康の大切さを伝えていきます。また、フレイル予防、生活習慣病対策、災害時の栄養支援など地域の実情に応じたテーマを設定して関係機関と協働しながら継続的に取り組んでまいります。



糖尿病対策部門

小国郷糖尿病対策チームブルー (阿蘇圏域)

「糖尿病を通じて、地域医療に資する」

団体概要

小国郷糖尿病対策チームブルーは、小国町及び南小国町の行政と医療機関に所属する職員で構成された多施設・多職種によるチームです。

平成 29 年より徐々に連携開始し、平成 31 年には正式にチーム名を決めて活動しております。

主な取り組み・活動内容

○糖尿病患者さんに対して

糖尿病地域連携バス「DM 熊友バス」を活用して、患者さんに働きかける。

○地域住民に対して

「夏祭りでの無料血糖測定会」「糖尿病教室」「住民参加型ウォーキングイベント」「ケーブル TV 番組作成」

○地域の子ども達に対して

特別授業 小学生「おかしの食べ方を考えよう」 中学生「バランスの良い食事と運動のススメ」

○医療及び介護関係者に対して

学会発表 研修会（主催・講師・パネリスト参加など）

○チーム内にて

月 1 回の連携会議

今後について

地域住民への糖尿病発症予防及び重症化予防について、引き続き、以下のような活動を継続し、チーム一丸となって取り組んでいきます。

- ・ケーブルテレビでの新番組制作
- ・糖尿病未治療及び治療中断率の更なる改善
- ・小国町、南小国町以外での活動

